

# 建築物総合環境性能評価認証制度要綱

## (目的)

第1条 本要綱（以下「要綱」という。）は、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター（以下「財団」という。）が、建築環境総合性能評価システム（Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency、以下「CASBEE」という。）の適正な運用と普及を図るため、必要な事項を定めるものである。

## (用語の定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の定義はそれぞれ当該各号に定めるところによる。

### 一 評価ツール

CASBEE 戸建・新築、CASBEE-戸建（新築）、CASBEE 戸建・既存、CASBEE-住戸ユニット（新築）、CASBEE-新築、CASBEE-既存、CASBEE-改修、CASBEE-新築（簡易版）、CASBEE-既存（簡易版）、CASBEE-改修（簡易版）、CASBEE-建築（新築）、CASBEE-建築（既存）、CASBEE-建築（改修）、CASBEE-短期使用、CASBEE 不動産マーケット普及版、CASBEE-不動産、CASBEE-ウェルネスオフィス、CASBEE-インテリアスペース、CASBEE-HI(ヒートアイランド)、CASBEE-まちづくり、CASBEE-街区の各評価ツールをいう。

### 二 CASBEE 評価員

CASBEE 評価員制度要綱における「CASBEE 建築評価員」、「CASBEE 戸建評価員」、「CASBEE 不動産評価員」並びに「CASBEE ウェルネスオフィス評価員」をいう。

### 三 CASBEE 戸建評価認証

CASBEE-戸建(新築)の評価ツールを用いて、当該区分の評価員が認証の対象建築物を評価した結果を、評価者以外の CASBEE 戸建評価員により確認することをいう。

### 四 CASBEE 建築評価認証

CASBEE-建築（新築）、CASBEE-建築（既存）、CASBEE-建築（改修）の各評価ツールを用いて、当該区分の評価員が認証の対象建築物を評価した結果を、評価者以外の CASBEE 建築評価員により確認することをいう。

### 五 CASBEE 不動産評価認証

CASBEE-不動産の評価ツールを用いて、当該区分の評価員が認証の対象建築物を評価した結果を、評価者以外の CASBEE 不動産評価員により確認することをいう。

### 六 CASBEE ウェルネスオフィス評価認証

CASBEE-ウェルネスオフィスの評価ツールを用いて、当該区分の評価員が認証の対象建築物を評価した結果を、評価者以外の CASBEE ウェルネスオフィス評価員により確認することをいう。

### 七 CASBEE 街区評価認証

CASBEE-街区の評価ツールを用いて、認証の対象プロジェクトを評価した結果を、第11条第五号により確認することをいう。

## (認証の対象建築物又はプロジェクト)

第3条 認証業務の対象とする建築物又はプロジェクトは、最新のマニュアルが対象とする建築物又はプロジェクトとする。ただし CASBEE 建築評価認証については、延べ面積が原則として 300m<sup>2</sup> 以上のものとする。

(申請)

第4条 認証の申請者は、財団に対し、次の各号に掲げる事項を記載した申請書兼掲載承諾書（様式

1）並びに財団が定める資料を正1部、副2部提出しなければならない。

一 申請者の氏名及び住所

二 CASBEE 評価員の氏名及び評価員番号（CASBEE-街区を除く）

三 認証を受けようとする建築物またはプロジェクト（以下「建築物等」という。）の名称、用途及び建設地又は所在地

四 認証を受けようとする建築物等の概要

五 その他各評価認証に関して申請書兼掲載承諾書に定められた項目

2 申請者は、原則として CASBEE 戸建評価認証、CASBEE 建築評価認証、CASBEE 不動産評価認証、CASBEE ウェルネスオフィス評価認証については対象建築物の建築主又は所有者とし、CASBEE 街区評価認証にあつては開発事業者又は所有者とする。

3 申請者は、申請書兼掲載承諾書の提出を持って財団ホームページへの公開に同意したものとする。

4 財団は、申請時評価ツールに入力されたデータの一部について、匿名化を図った上で、統計作成等に活用できるものとする。

(評価認証認定機関による申請手続)

第5条 CASBEE 評価認証認定機関による認証手続は、各機関が公表する申請要領に従うものとする。

2 各機関が公表する申請書においては、様式1で定められた内容を全て含むものとする。

(地方公共団体版の開発・運用)

第6条 地方公共団体は、財団が開発・所有する「建築物総合環境性能評価システム（CASBEE）」（以下「CASBEE 標準版」という。）に改変を加え、CASBEE（地方公共団体版（以下「CASBEE 地域版」という。））を開発・運用することができる。

(地方公共団体の責務)

第7条 地方公共団体は、地方版の開発・運用にあたってあらかじめ財団の承諾を得るものとし、次の各号を順守する。

一 地方公共団体は、CASBEE 地域版を開発したときには、評価ツール及び評価マニュアル等関係資料を財団に提出しなければならない。

二 地方公共団体は、CASBEE 地域版を利用した届け出制度等を設けた場合には、届け出状況等を年度毎に財団に報告しなければならない。

(評価ツールの改変等)

第8条 地方公共団体が CASBEE 標準版に改変を加えて CASBEE 地域版を開発する場合は、原則として次によるものとする。

一 評価内容の改変は大項目、中項目、小項目のうち小項目の範囲にとどめるものとする。

二 評価項目の名称の改変については、評価内容を逸脱しない範囲にとどめるものとする。

三 事前に改変内容を「CASBEE 研究開発委員会」に諮り承認を得るものとする。

四 地方公共団体は、独自の CASBEE 地域版のロゴマークを制定する場合は財団と協議するものとする。

(免責事項)

第9条 地方公共団体が、開発した CASBEE 地域版に基づく評価については、地方公共団体が責任を負うものとする。

(認証申請の引き受け)

第10条 財団は認証申請の内容を確認した上で受理するものとし、申請者に次の内容を含む業務約款を通知する。

- 一 認証費用に関する事
  - 二 費用の納入期日に関する事
  - 三 費用の納入方法に関する事
  - 四 契約解除の場合の評価認証費用の取扱いに関する事
- 2 申請者は業務約款の合意を前提に認証費用を財団に支払うものとする。

(審査の実施方法)

第11条 財団は、認証申請を引き受けた場合は、原則として次の各号に定める委員会及び審査部会(以下「評価認証委員会等」という。)において審査を行う。

- 一 評価認証委員会及び戸建審査部会 (CASBEE 戸建評価認証の場合)
  - 二 評価認証委員会及び建築審査部会 (CASBEE 建築評価認証の場合)
  - 三 評価認証委員会及び不動産審査部会 (CASBEE 不動産評価認証の場合)
  - 四 評価認証委員会及びWO 審査部会 (CASBEE ウェルネスオフィス評価認証の場合)
  - 五 評価認証委員会及び街区審査部会 (CASBEE 街区評価認証の場合)
- 2 財団は、審査上必要があるときは、申請者に対して申請図書の修正、追加資料の提出等を求め、若しくは申請者の承諾を得て現地調査を行うことができるものとする。
- 3 財団は、認証の対象となる建築物が建築基準法その他の法令に違反している恐れが高いと認めるときは、申請者に対して通知し、認証業務を一時中断又は中止できるものとする。

(審査に係わる図書の変更)

第12条 申請者は、審査中に評価結果に影響を与える可能性のある設計変更や計画変更を行った場合、速やかに財団に変更内容を通知し、変更部分に関連する資料を提出しなければならない。

- 2 前項の変更が大規模なものであると財団が認めた場合、申請者と財団が協議の上、申請者は認証申請を取り下げ、新たに申請を行わなければならないものとする。

(認証書の交付及び公表)

第13条 財団は、評価認証委員会等の審査結果を踏まえ、認証を行う。

- 2 財団は、認証を行ったときは申請者に対し、認証書(様式2)、評価結果(様式3)、認証票(様式4)を交付し、申請内容の概要を財団のホームページ等により公表する。

(表示)

第14条 認証を受けた者は、認証書、評価結果、認証票を、認証を受けた建築物等に関する説明等において表示することができる。ただし、第15条に定める有効期間を過ぎた場合には表示を行うことはできない(有効期間を過ぎていることを、その表示と共に明らかに確認できる形で表示する場合を除く)。

- 2 認証票を使用する場合、次の各号の定めに従うものとする。
- 一 認証票の全部またはその一部を改変または改ざんして使用してはならない
  - 二 ただし認証票はその大きさを縮小または拡大することを認め、白黒表示を可能とする
  - 三 認証票は、認証を受けた物件以外に使用してはならない。また、認証を受けていない物件を、

認証を受けたものと第三者に誤認させるような表示をしてはならない

- 3 財団は、認証の表示や公表に関し、必要があると認める場合、認証を受けた者に報告を求めることができる。

(有効期間等)

第15条 認証の有効期間は次の表に定める通りとする。

| 有効期間                         | 認証物件で適用された評価ツール                                     |
|------------------------------|---|
| 竣工日（竣工前の場合には竣工予定日）から3年       | CASBEE-戸建（新築）、CASBEE-建築（新築）                         |
| 工事完了日（工事完了前の場合には工事完了予定日）から3年 | CASBEE-建築（改修）                                       |
| 認証書を交付した日から5年                | CASBEE-建築（既存）、CASBEE-不動産、CASBEE-ウェルネスオフィス、CASBEE-街区 |

(変更届の提出)

第16条 認証有効期間内に、認証書に記載された建物名称又はプロジェクト名称、申請者名、建設地又は所在地の表記に変更が生じた場合には、認証取得者は、財団に変更届を提出し、認証書の再発行を受けることができる。

(認証の取消)

第17条 財団は、次の各号のいずれかに該当する場合には、認証を取り消し又は無効とすることができる。第二号及び第三号については、評価認証委員会等の意見を聴くものとする。

- 一 認証を受けた者が認証の取消を申請した場合
- 二 認証物件等の実態が認証内容と著しく乖離している場合
- 三 認証書の改ざんその他の不誠実な行為が行われた場合

(免責事項)

第18条 本認証は、認証を受けた建築物等が建築基準法その他関係法令に適合することについては保証しない。

- 2 本認証は、認証を受けた建築物等に瑕疵がないことについては保証しない。
- 3 審査に係わる図書に虚偽があったことが認証書の交付後に発覚した場合、財団は当該認証の結果について責任を負わないものとする。

(守秘義務)

第19条 財団の関係者及び評価認証委員会等の委員は、その業務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

- 2 評価認証委員会等は非公開とする。

(その他)

第20条 この要綱に定めるほか、本制度の事業運営上必要な事項については、理事長が定めるものとする。

付 則

この規程は平成16年4月27日から施行する。

一部改正 平成17年4月1日

一部改正 平成27年6月19日

一部改正 令和4年4月1日

CASBEE 自治体版運用規程は廃止する。

(様式1-1 第4条第1項関係：申請書) (CASBEE戸建評価認証の場合)

年 月 日

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター  
理事長 殿

申請者 会社名  
代表者名  
所在地

## CASBEE戸建評価認証申請書兼掲載承諾書

建築物総合環境性能評価認証制度要綱に基づく評価認証を受けたいので、関係書類を添えて申請いたします。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。また評価認証後に、下記に記載の公開項目及び備考欄に記載の項目について、IBECsホームページにおける認証物件一覧に掲載することを承諾します。

記

|  |   |  |
|--|---|--|
| 1 建物名称・所在地   | <input type="checkbox"/> 公開<br><input type="checkbox"/> 非公開 | 建物名称：  |
|  | <input type="checkbox"/> 公開<br><input type="checkbox"/> 非公開 | 所在地： (市町村名迄)   |
| 2 設計者・施工者  | 非公開   | 設計者：   |
|  |   | 施工者：   |
| 3 建物用途・規模  | <input type="checkbox"/> 公開<br><input type="checkbox"/> 非公開 | 用途：<br>その他の用途* ( )<br><small>※評価対象以外の用途が含まれる場合</small>             |
|  | <input type="checkbox"/> 公開<br><input type="checkbox"/> 非公開 | 延べ面積： m <sup>2</sup> 地上 階、地下 階<br>(うち評価対象範囲の延べ面積： m <sup>2</sup> ) |
| 4 竣工年月日  | <input type="checkbox"/> 公開<br><input type="checkbox"/> 非公開 | 年 月 日 (新築は予定でも可)   |
| 5 CASBEE評価ツール  | 公開  | CASBEE-戸建 (新築) ( 年版)   |
| 6 評価者氏名<br><small>※評価を実施した者の氏名を記載</small>  | 非公開   | 会社名：<br>氏名：<br>CASBEE-戸建評価員登録番号：                                   |
| 7 申請者  | <input type="checkbox"/> 公開<br><input type="checkbox"/> 非公開 | 個人/法人名：  |
| 8 連絡担当者<br><small>※連絡をさせて頂く際の担当者を記載</small>  | 非公開   | 会社名：<br>所属・役職名：<br>氏名：<br>住所：<br>連絡先：(電話)<br>(E-mail)              |
| 9 物件画像 (CG可)   | <input type="checkbox"/> 公開<br><input type="checkbox"/> 非公開 |  |
| 10 評価結果書   | <input type="checkbox"/> 公開<br><input type="checkbox"/> 非公開 |  |
| 11 評価ランク   | <input type="checkbox"/> 公開<br><input type="checkbox"/> 非公開 |  |
| 備考 評価認証後、本公開項目に加えて、評価結果書、評価ランク、認証日、有効期限とともにIBECsホームページ上に掲載されます。(評価認証時までには掲載名称が変更となった場合は当該名称とします。)申請時に評価ツールに入力されたデータの一部について、IBECsにおいて匿名化した上で統計等に活用されることがあることをご了承ください。 |   |  |

以上

注) □の部分は、■または☐により項目を選択して下さい。

(様式1-2 第4条第1項関係：申請書) (CASBEE 建築評価認証の場合)

年 月 日

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター  
理事長 殿

申請者 会社名  
代表者名  
所在地

## CASBEE建築評価認証申請書兼掲載承諾書

建築物総合環境性能評価認証制度要綱に基づく評価認証を受けたいので、関係書類を添えて申請いたします。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。また評価認証後に、下記に記載の公開項目及び備考欄に記載の項目について、IBECsホームページにおける認証物件一覧に掲載することを承諾します。

記

|   |   |   |
|---|---|---|
| 1 建物名称・所在地  | 公開  | 建物名称：   |
|   | 公開  | 所在地： (市町村名迄)  |
| 2 設計者・施工者<br>※既存建物は確認可能な場合のみ  | 非公開   | 設計者：  |
|   |   | 施工者：  |
| 3 建物用途・規模   | 公開  | 用途：<br>その他の用途※ ( )<br>※評価対象以外の用途が建物内に含まれる場合   |
|   | 公開  | 延べ面積： m <sup>2</sup> 地上 階、地下 階  |
| 4 竣工年月日   | 公開  | 年 月 日 (新築は予定でも可)  |
| 5 CASBEE評価ツール   | 公開  | CASBEE-建築 ( ) ( 年版)   |
| 6 評価段階  | 公開  | <input type="checkbox"/> 基本設計段階 <input type="checkbox"/> 実施設計段階 <input type="checkbox"/> 竣工段階<br>※評価ツールがCASBEE建築(新築)の場合のみ記入 |
| 7 評価者氏名<br>※評価を実施した者の氏名を記載  | 非公開   | 会社名：<br>氏名：<br>CASBEE-建築評価員登録番号：  |
| 8 申請者   | 公開  | 法人名：  |
| 9 連絡担当者<br>※連絡をさせて頂く際の担当者を記載  | 非公開   | 会社名：<br>所属・役職名：<br>氏名：<br>住所：<br>連絡先：(電話)<br>(E-mail)   |
| 10 物件画像(CG可)  | <input type="checkbox"/> 公開<br><input type="checkbox"/> 非公開 | 非公開にできるのは完成写真がない場合のみです。   |
| 11 スコアシート   | <input type="checkbox"/> 公開<br><input type="checkbox"/> 非公開 | 任意の掲載項目ですが、積極的公開をお願い致します。   |
| 備考 評価認証後、本公開項目に加えて、評価結果書、評価ランク、認証日、有効期限とともにIBECsホームページ上に掲載されます。(評価認証時まで掲載名称が変更となった場合は当該名称とします。)申請時に評価ツールに入力されたデータの一部分について、IBECsにおいて匿名化した上で統計等に活用されることがあることをご了承ください。 |   |   |

以上

注) □の部分は、■または☑により項目を選択して下さい。

(様式1-3 第4条第1項関係：申請書) (CASBEE 不動産評価認証の場合)

年 月 日

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター  
理事長 殿

申請者 会社名  
代表者名  
所在地

## CASBEE不動産評価認証申請書兼掲載承諾書

建築物総合環境性能評価認証制度要綱に基づく評価認証を受けたいので、関係書類を添えて申請いたします。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。また評価認証後に、下記に記載の公開項目及び備考欄に記載の項目について、IBECsホームページにおける認証物件一覧に掲載することを承諾します。

記

|  |   |  |
|--|---|--|
| 1 建物名称・所在地   | 公開  | 建物名称：  |
|  | 公開  | 所在地： (市町村名迄)   |
| 2 建物用途・規模  | 公開  | 用途：<br>その他の用途※ ( )<br>※評価対象以外の用途が建物内に含まれる場合                        |
|  | 公開  | 延べ面積： m <sup>2</sup> 地上 階、地下 階<br>(うち評価対象範囲の延べ面積： m <sup>2</sup> ) |
| 3 竣工年月日  | 公開  | 年 月 日 (新築は予定でも可)   |
| 4 CASBEE評価ツール  | 公開  | CASBEE-不動産 ( 年版)   |
| 5 評価者氏名<br>※評価を実施した者の氏名を記載   | 非公開   | 会社名：<br>氏名：<br>CASBEE-不動産評価員登録番号：                                  |
| 6 申請者  | 公開  | 法人名：   |
| 7 連絡担当者<br>※連絡をさせて頂く際の担当者を記載   | 非公開   | 会社名：<br>所属・役職名：<br>氏名：<br>住所：<br>連絡先：(電話)<br>(E-mail)              |
| 8 物件画像 (CG可)   | <input type="checkbox"/> 公開<br><input type="checkbox"/> 非公開 | 非公開にできるのは完成写真がない場合のみです。  |
| 備考 評価認証後、本公開項目に加えて、評価結果書、評価ランク、認証日、有効期限とともにIBECsホームページ上に掲載されます。(評価認証時まで掲載名称が変更となった場合は当該名称とします。)申請時に評価ツールに入力されたデータの一部について、IBECsにおいて匿名化した上で統計等に活用されることがあることをご了承ください。 |   |  |

以上

注) □の部分は、■またはにより項目を選択して下さい。

(様式1-4 第4条第1項関係：申請書) (CASBEE ウェルネスオフィス評価認証の場合)

年 月 日

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター  
理事長 殿

申請者 会社名  
代表者名  
所在地

## CASBEE ウェルネスオフィス評価認証申請書兼掲載承諾書

建築物総合環境性能評価認証制度要綱に基づく評価認証を受けたいので、関係書類を添えて申請いたします。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。また評価認証後に、下記に記載の公開項目及び備考欄に記載の項目について、IBECsホームページにおける認証物件一覧に掲載することを承諾します。

記

|   |   |   |
|---|---|---|
| 1 認証タイプ   | 公開  | <input type="checkbox"/> タイプ1：CASBEEウェルネスオフィス<br><input type="checkbox"/> タイプ2：CASBEEスマートウェルネスオフィス  |
| 2 建物名称・所在地  | 公開  | 建物名称：   |
|   | 公開  | 所在地： (市町村名迄)  |
| 3 設計者・施工者<br>※既存建物は確認可能な場合のみ  | 非公開   | 設計者：  |
|   |   | 施工者：  |
| 4 建物用途・規模   | 公開  | 用途：<br>その他の用途※ ( )<br>※評価対象とした事務所以外の用途が建物内に含まれる場合   |
|   | 公開  | 延べ面積： m <sup>2</sup> 地上 階、地下 階<br>(うち評価対象範囲の延べ面積： m <sup>2</sup> )  |
| 5 竣工年月日   | 公開  | 年 月 日 (新築は予定でも可)  |
| 6 総合環境性能評価の区分<br>※タイプ2のみ記入  | 非公開   | <input type="checkbox"/> CASBEE建築認証 (認証番号： )<br><input type="checkbox"/> CASBEE不動産認証 (認証番号： )<br><input type="checkbox"/> CASBEE自主評価登録 (自主評価登録番号： )<br><input type="checkbox"/> 自治体版CASBEE届出 (自治体名： ) |
| 7 総合環境性能評価ランク<br>※タイプ2のみ記入  | 公開  | ランク (取得済の場合)  |
| 8 CASBEE評価ツール   | 公開  | CASBEE-ウェルネスオフィス ( 年版)  |
| 9 評価者氏名<br>※評価を実施した者の氏名を記載  | 非公開   | 会社名：<br>氏名：<br>CASBEE-ウェルネスオフィス評価員登録番号：   |
| 10 申請者  | 公開  | 法人名：  |
| 11 連絡担当者<br>※連絡をさせて頂く際の担当者を記載   | 非公開   | 会社名：<br>所属・役職名：<br>氏名：<br>住所：<br>連絡先：(電話) (E-mail)  |
| 12 物件画像(CG可)  | <input type="checkbox"/> 公開<br><input type="checkbox"/> 非公開 | 非公開にできるのは完成写真がない場合のみです。   |
| 13 スコアシート   | <input type="checkbox"/> 公開<br><input type="checkbox"/> 非公開 | 任意の掲載項目ですが、積極的公開をお願い致します。   |
| 備考 評価認証後、本公開項目に加えて、評価結果書、評価ランク、認証日、有効期限とともにIBECsホームページ上に掲載されます。(評価認証時までに掲載名称が変更となった場合は当該名称とします。)申請時に評価ツールに入力されたデータの一部について、IBECsにおいて匿名化した上で統計等に活用されることがあることをご了承ください。 |   |   |

以上

注) □の部分は、■または☑により項目を選択して下さい。

(様式1-5 第4条第1項関係：申請書) (CASBEE 街区評価認証の場合)

年 月 日

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター  
理事長 殿

申請者 会社名  
代表者名  
所在地

## CASBEE街区評価認証申請書兼掲載承諾書

建築物総合環境性能評価認証制度要綱に基づく評価認証を受けたいので、関係書類を添えて申請いたします。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。また評価認証後に、下記に記載の公開項目及び備考欄に記載の項目について、IBECsホームページにおける認証物件一覧に掲載することを承諾します。

記

|                                   |     |   |
|-----------------------------------|-----|---|
| 1 名称・所在地<br>※対象区域に含まれる住所を町丁単位まで記入 | 公開  | プロジェクト名称：   |
|                                   | 公開  | 所在地：  |
| 2 地域・地区                           | 公開  | 用途地域：   |
| 3 着工・竣工時期                         | 公開  | (着工) 年 月～(竣工予定) 年 月   |
| 4 関連事業<br>※CASBEEの評価に関連する法定事業名を記載 | 公開  | (例：地区計画、再開発事業等)   |
| 5 対象区域面積                          | 公開  | m <sup>2</sup>  |
| 6 CASBEE評価ツール                     | 公開  | CASBEE-街区 ( 年版)   |
| 7 評価段階                            | 公開  | <input type="checkbox"/> 計画段階<br><input type="checkbox"/> 事業中<br><input type="checkbox"/> 竣工段階  |
| 8 申請者                             | 公開  | 法人名：  |
| 9 連絡担当者<br>※連絡をさせて頂く際の担当者を記載      | 非公開 | 会社名：<br>所属・役職名：<br>氏 名：<br>住 所：<br>連絡先：(電話)<br>(E-mail)   |
| 備 考                               |     | 評価認証後、本公開項目に加えて、評価結果書、評価ランク、認証日、有効期限とともにIBECsホームページ上に掲載されます。(評価認証時まで掲載名称が変更となった場合は当該名称とします。)申請時に評価ツールに入力されたデータの一部について、IBECsにおいて匿名化した上で統計等に活用されることがあることをご了承ください。 |

以上

注) □の部分、■またはにより項目を選択して下さい。

(認証番号)

## CASBEE戸建評価認証書

建築物総合環境性能評価認証制度要綱第11条の規定に基づく審査の結果、CASBEEによる戸建住宅の総合環境性能評価が的確であると認証する

評 価

(ランクに応じた星印) ( ) ランク

建 物 名 称 :  
申 請 者 :  
建 設 地 :  
評 価 段 階 :  
評 価 ツール :  
有 効 期 限 :

(交付年月日)

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター  
理 事 長

(認証番号)

## CASBEE 建築評価認証書

建築物総合環境性能評価認証制度要綱第11条の規定に基づく審査の結果、CASBEEによる建築物の総合環境性能評価が的確であると認証する

評 価

(ランクに応じた星印) ( ) ランク

建 物 名 称 :  
申 請 者 :  
建 設 地 :  
評 価 段 階 :  
評 価 ツール :  
有 効 期 限 :

(交付年月日)

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター  
理 事 長

(認証番号)

## CASBEE 不動産評価認証書

建築物総合環境性能評価認証制度要綱第11条の規定に基づく審査の結果、CASBEE-不動産による評価結果が下記の通りの確であると認証する

評 価

(ランクに応じた星印) ( ) ランク ( 点)

建 物 名 称 :

申 請 者 :

所 在 地 :

評価ツール :

有 効 期 限 :

(交付年月日)

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター  
理 事 長

(認証番号)

## CASBEE ウェルネスオフィス評価認証書

建築物総合環境性能評価認証制度要綱第11条の規定に基づく審査の結果、CASBEE-ウェルネスオフィスによる評価結果が下記の通りの確であると認証する

評 価

(ランクに応じた星印) ( ) ランク ( 点)

建 物 名 称 :

申 請 者 :

所 在 地 :

評価ツール :

有効期限 :

(交付年月日)

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター  
理 事 長

(認証番号)

## C A S B E E 街区評価認証書

建築物総合環境性能評価認証制度要綱第11条の規定に基づく審査の結果、CASBEEによる街区の総合環境性能評価が的確であると認証する

評 価

(ランクに応じた星印) ( ) ランク

プロジェクト名称：

申請者：

評価段階：

評価ツール：

有効期限：

(交付年月日)

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター  
理事長

(様式3-1 第13条第2項関係：評価結果) (CASBEE 戸建評価認証の場合)

# CASBEE®-戸建(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築)2014年版

■使用評価ソフト:

CASBEE-DH\_NC\_2014v1.0

| 1-1 建物概要   |                    |       | 1-2 外観                                  |                  |              |
|------------|--------------------|-------|---|------------------|--------------|
| 建物名称       | 0                  |       | 仕様等の確定状況                                | 建物の仕様<br>持ち込み家電等 | 一部確定<br>一部確定 |
| 竣工年月       | 2014年●月●日          | 予定    |   | 外構の仕様            | 確定           |
| 建設地        | ●●●●●市             |       | <備考>                                    |                  |              |
| 用途地域       | 0                  | 仮     |   |                  |              |
| 省エネルギー地域区分 | 6 地域               |       | 外観パース等<br>図を貼り付けるときは<br>シートの保護を解除してください |                  |              |
| 構造・構法      | 0                  | 0     |   |                  |              |
| 階数         | 2                  | 0     | 評価の実施日                                  | 2014年●月●日        |              |
| 敷地面積       | 110 m <sup>2</sup> | 0     | 作成者                                     | ○○○○             |              |
| 建築面積       | 75 m <sup>2</sup>  | ##### | 確認日                                     | 2014年●月●日        |              |
| 延床面積       | 150 m <sup>2</sup> |       | 確認者                                     | □□□□             |              |
| 世帯人数       | 4                  | 0     |   |                  |              |

### 2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境負荷 L

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

戸建標準計算

①参照値 100%  
 ②建築物の取組み 87%  
 ③上記+②以外のオンサイト手法 73%  
 ④上記+オフサイト手法 73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 長く使い続ける

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

Q3のスコア = 3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア = 3.3

| 3 設計上の配慮事項          |                    | その他                 |
|---------------------|--------------------|---------------------|
| 総合                  |                    |                     |
| Q1 室内環境を快適・健康・安心にする | Q2 長く使い続ける         | Q3 まちなみ・生態系を豊かにする   |
| LR1 エネルギーと水を大切に使う   | LR2 資源を大切に使いゴミを減らす | LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する |

(様式3-2 第13条第2項関係：評価結果) (CASBEE 建築評価認証の場合)

# 評価結果

**CASBEE®-建築(新築)**

使用評価ソフト : CASBEE-BD\_NC\_2014(v2.0)

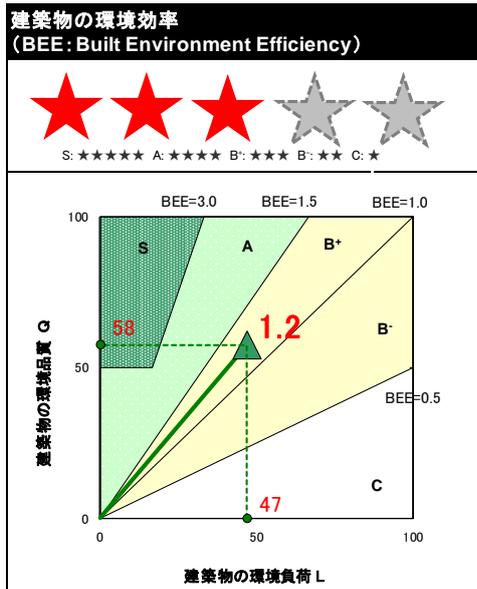
認証番号 : (認証番号を記入)

交付日 : 2015年9月9日

(認証物件名)

(認証機関名)

|       |           |      |             |
|-------|-----------|------|-------------|
| 建物用途  |           | 敷地面積 | 9999.99㎡    |
| 建設地   |           | 建築面積 | 999.99㎡     |
| 気候区分  |           | 延床面積 | 9999.99㎡    |
| 地域・地区 |           | 階数   | 地上99F、地下99F |
| 竣工日   | 2008年3月5日 | 構造   | RC造         |



建築物の環境品質Q

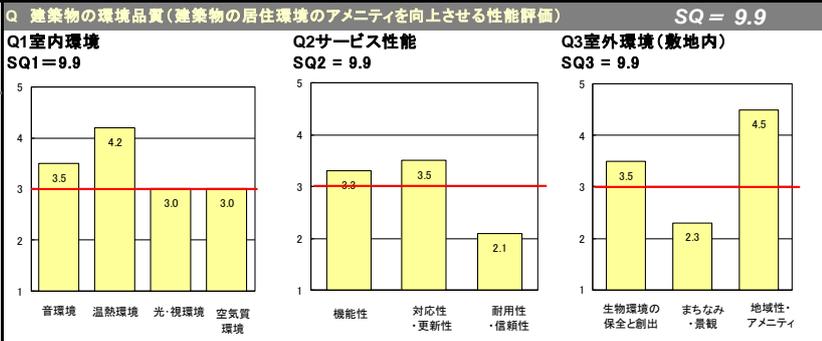
建築物の環境負荷L

$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質}Q}{\text{建築物の環境負荷}L} = \frac{25 \times (SQ-1)}{25 \times (5-SLR)} = \frac{99}{99} = 9.9$$

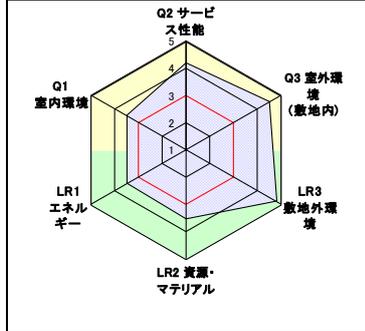
**ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)**



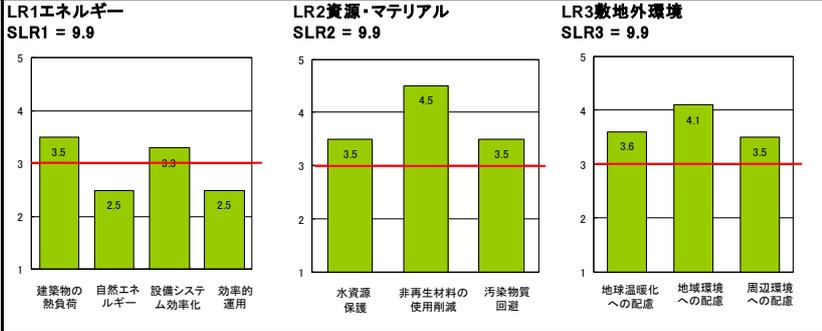
**中項目の評価(バーチャート)**



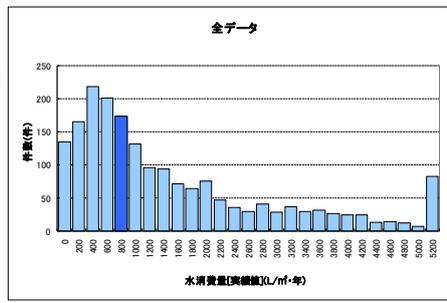
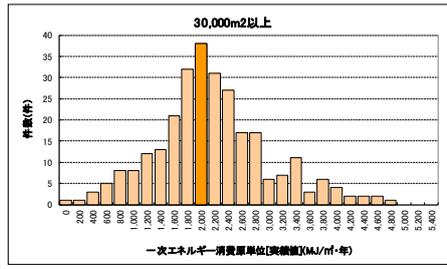
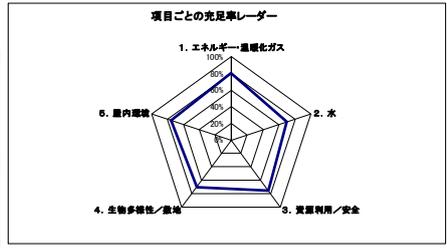
**大項目の評価(レーダーチャート)**



**LR 建築物の環境負荷低減性(建築物の環境負荷を低減させる性能評価)** **SLR = 9.9**



| CASBEE®-不動産                                  |            | 【オフィス】  |   | ■ 評価結果 ■                                     |            |
|--|------------|---|---|--|------------|
| ■ 評価用評価マニュアル - CASBEE-不動産【オフィス】(2014年版) v2.1 |            |   |   |  |            |
| <b>建物概要</b>                                  |            |   |   |  |            |
| 建物名称   | OOEL       | 原地面積  | 9,000 m <sup>2</sup>                              | 評価の段階  | 運用段階評価     |
| 建設地  | 〇〇〇〇市XXXXX | 建築面積  | 8,500 m <sup>2</sup>                              | 評価の実施日                                       | 20XX/XX/XX |
| 用途地域   | 商業地域、防火地域  | 延床面積  | 50,000 m <sup>2</sup>                             | 作成者  | 〇〇〇        |
| 建物用途   | 事務所        | 階数  | 地上〇〇F   | 不動産評価員番号                                     | 〇〇〇        |
| 竣工年月   | 19XX/XX/XX | 構造  | RC造   | 確認日  | 20XX/XX/XX |
| 直近の大規模改修実施年月                                 | 20XX/XX/XX | 平均居住人員  | XXX   | 確認者  | 〇〇〇        |
|  |            | 空室使用時間  | XXX   | 不動産評価員番号                                     |            |
| <b>評価結果</b>                                  |            |   |   |  |            |
| 75.3 /100                                    | 合計         | ★★★★★   |   | S ランク:★★★★★                                  | 75         |
| (得点 / 満点)                                    |            | ★★★★★   |   | A ランク:★★★★                                   | 66         |
|  |            | ★★★★★   |   | B+ランク:★★★★                                   | 60         |
|  |            | ★★★★★   |   | B ランク:★★★                                    | 50         |
| ※中心値は小数第1位までの表示とする                           |            |   |   |  |            |
| <b>1. エネルギー・暖房ガス</b>                         |            |   |   |  |            |
| 評価   | 最大加点       | 必須項目  | 指標  | 評価値  |            |
| 適合   |            | エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制                          | 指標 (〇は参考値)  | 評価値  |            |
| 1.0  | 1          | 根拠等 PAL、CECは基準以下、年間実績を把握し、ベンチマーク比較実施<br>テナントと共同で省エネ目標設置 | 一次エネルギー(目標値)                                      | 1,850 [MJ/m <sup>2</sup> ・年]                 |            |
| 20.0   | 25         | 1.1 使用・排出原単位(計算値)                                       | 一次エネルギー(計画値)                                      | 1,554.0 [MJ/m <sup>2</sup> ・年]               |            |
|  |            | 根拠等 空調・照明・換気・給湯・昇降機の消費量<br>2次エネルギーは参考値                  | 二次エネルギー(〇)  | 153.0 [kWh/m <sup>2</sup> ・年]                |            |
|  |            | 1.2 使用・排出原単位(実績値)                                       | CO2排出量(〇)   | 68.0 [kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> ・年] |            |
|  |            | 根拠等 ビル全体の消費量<br>10フロア中、2フロアにデータセンターが入居                  | 一次エネルギー(実績値)                                      | 2,031.0 [MJ/m <sup>2</sup> ・年]               |            |
|  |            | 1.3 自然エネルギー   | 二次エネルギー(〇)  | 208.0 [kWh/m <sup>2</sup> ・年]                |            |
|  |            | 根拠等 太陽光発電:出力100kW(12%)                                  | CO2排出量(〇)   | 89.0 [kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> ・年] |            |
|  |            |   | 利用率   | 12.0 %                                       |            |
| 23.0   | 36         | 合計  |   |  |            |
| <b>2. 水</b>                                  |            |   |   |  |            |
| 評価   | 最大加点       | 必須項目  | 指標  | 評価値  |            |
| 適合   |            | 目標設定、モニタリング、運用管理体制                                      | 指標  | 評価値  |            |
| 4.0  | 5          | 根拠等 水使用実績を把握  | 水使用量(目標値)   | 680.0 [L/m <sup>2</sup> ・年]                  |            |
| 3.0  | 5          | 2.1 水使用量(計算値)   | 水使用量(計画値)   | 680.0 [L/m <sup>2</sup> ・年]                  |            |
|  |            | 根拠等 雨水利用を含む   | 水使用量(実績値)   | 800.0 [L/m <sup>2</sup> ・年]                  |            |
| 7.0  | 10         | 合計  |   |  |            |
| <b>3. 資源利用/安全</b>                            |            |   |   |  |            |
| 評価   | 最大加点       | 必須項目  | 指標  | 評価値  |            |
| 適合   |            | 新耐震基準への適合または旧耐震基準<br>B30.6に向けた改修工事を実施済み                 | 指標  | 評価値  |            |
| 5.0  | 5          | 3.1 高耐震・免震等   | ①と②の点数の高い方で評価                                     | なし   |            |
| 3.0  | 5          | 根拠等 ① 耐震性 基準レベル   |   |  |            |
| 5.0  | 5          | ② 免震・制振機能 検査結果を参照                                       |   |  |            |
| 2.0  | 5          | 3.2 再生材利用   | ①と②の平均で評価する                                       |  |            |
| 3.0  | 5          | 根拠等 ① 躯体材料 断りサイクル素材を用いていない                              |   |  |            |
| 1.0  | 5          | ② 非構造成品 断りサイクル素材を用いていない                                 | リサイクル材品目数(非構成品)                                   | 0 品目   |            |
| 5.0  | 5          | 3.3 躯体材料の耐用年数   | 根拠等 耐久性 性能劣化調査等級3相当                               | 75 年   |            |
| 3.0  | 5          | 3.4 主要設備機器の更新必要間隔・設備の自動率向上/維持管理                         | ①、②、③の平均値で評価                                      |  |            |
| 3.0  | 5          | 根拠等 ① 主要設備機器 12ヶ月を定更新間隔として評価                            | 更新年数の平均値  | 15 年   |            |
| 4.0  | 5          | ② 設備(電力等) 非常時に発電機から電力供給(24時間)、太陽光発電                     | 自動率向上の取組数   | 3 ポイント                                       |            |
| 2.0  | 5          | ③ 維持管理 維持管理及び設備管理の業務仕様書に環境配慮を明記                         | 維持管理に関する取組数                                       | 3 ポイント                                       |            |
| 15.0   | 20         | 合計  |   |  |            |
| <b>4. 生物多様性/敷地</b>                           |            |   |   |  |            |
| 評価   | 最大加点       | 必須項目  | 指標  | 評価値  |            |
| 適合   |            | 特定外来生物・未特定外来生物・要注意外来生物を使用しない                            | 指標  | 評価値  |            |
| 3.0  | 5          | 根拠等 外来生物法(栽培、輸入等)運搬者お断り(要注意外来生物)を遵守                     | 指標  | 評価値  |            |
| 4.0  | 5          | 4.1 生物多様性の向上  | ①と②の点数の高い方で評価                                     |  |            |
|  |            | 根拠等 ① 敷地内(2対対象外)の緑地を確保                                  | ② 取組結果による場合のポイント数                                 | 1 ポイント                                       |            |
| 4.0  | 5          | 4.2 土壌環境品質・プラウフィードル再生                                   | 根拠等 地域の自然緑地に配慮した緑地計画としている。                        |  |            |
|  |            | 根拠等 ① 法定調査実施、影響変更の届出、拡散防止、汚染の除去                         |   |  |            |
| 3.0  | 5          | 4.3 公共交通機関の接近性  | 根拠等 法定調査実施、影響変更の届出、拡散防止、汚染の除去                     |  |            |
|  |            | 根拠等 駅直結が徒歩10分   |   |  |            |
| 4.0  | 5          | 4.4 自然災害リスク対策   | 根拠等 現状、津波、地震災害、噴煙の恐れはない<br>水害、地震動のリスクがあるが有効な対策を実施 | リスクの合計数                                      | 2 種類       |
| 14.0   | 20         | 合計  |   |  |            |
| <b>5. 屋内環境</b>                               |            |   |   |  |            |
| 評価   | 最大加点       | 必須項目  | 指標  | 評価値  |            |
| 適合   |            | 建築物衛生管理の準則または民間業への適合                                    | 指標  | 評価値  |            |
| 3.3  | 5          | 根拠等 建築物衛生法の記録を保管しており、基準を準拠                              | 指標  | 評価値  |            |
| 3.0  | 5          | 5.1 星光利用  | ①の点数×2/3+②の点数×1/3                                 |  |            |
| 4.0  | 5          | 根拠等 ① 自然採光 開口率14%                                       | 開口率   | 14.0 %                                       |            |
|  |            | ② 昼光利用設備 ライトシェルフ設置                                      | 昼光利用設備  | 1 種類   |            |
| 4.0  | 5          | 5.2 自然換気性能  | 根拠等 有効開口面積が居室面積の1/25                              |  |            |
| 4.0  | 5          | 5.3 騒音  | 根拠等 全ての執務者が十分な昼外眺望を得られる意を設置                       | 天井高  | 2.0 m以上    |
| 11.3   | 15         | 合計  |   |  |            |



**環境性能の特徴**

- ・建物の省エネルギー性能、及び節電に関する運用上の工夫により、エネルギー/温暖化ガスの項目が高い評価となっている。
- ・きめ細かいメンテナンスの実施により、法定耐用年数を上回る更新必要間隔となっており、資源利用/安全の項目で高い評価となっている。
- ・水の使用実績が、設備仕様や館内人数から想定される使用量を上回っており、運用上の工夫の余地があるものと考えられる。
- ・公共交通が至便の値にあり、また自然災害リスクの少ないことが、生物多様性/敷地の項目で評価点を高めている。
- ・採光面積、自然換気開口率なども高く、屋内環境の評価点を高めている。

評価機関、評価員記名欄

認証機関記名欄

この部分は店舗の場合には表示しない

(様式3-4 第13条第2項関係：評価結果) (CASBEE ウェルネスオフィス評価認証の場合)

# CASBEE®-ウェルネスオフィス | 評価結果 |

■使用評価マニュアル：CASBEE-ウェルネスオフィス2019年版 ■使用評価ソフト：CASBEE-WQ\_2019(v1.1)

| 1-1 建物概要 |                       |        |               | 1-2 評価パターン                              |       |
|----------|-----------------------|--------|---------------|---|-------|
| 建物名称     | 〇〇ビル                  | 階数     | 地上〇〇F         | 評価対象                                    | パターン2 |
| 建設地      | 〇〇県〇〇市                | 構造     | 0             | 1-3 外観                                  |       |
| 用途地域     | 商業地域、防火地域             | 平均居住人員 | XX 人          | 外観バース等<br>図を貼り付けるときは<br>シートの保護を解除してください |       |
| 地域区分     |                       | 年間使用時間 | XXX 時間/年(想定値) |   |       |
| 建物用途     | 0                     | 評価の段階  |               |   |       |
| 竣工年      | 201●年●月 0.0           | 評価の実施日 | 201●年●月●日     |   |       |
| 敷地面積     | XXX m <sup>2</sup>    | 作成者    | 〇〇〇           |   |       |
| 建築面積     | XXX m <sup>2</sup>    | 確認日    | 201●年●月●日     |   |       |
| 延床面積     | 15,000 m <sup>2</sup> | 確認者    | 〇〇〇           |   |       |

| 2-1 総合評価   | 2-2 大項目の評価(レーダーチャート)  |
|--|---|
| <p>Rank: <b>B-</b>      49.6 / 100</p> <p>                     S ランク: ★★★★★ &gt; 75<br/>                     A ランク: ★★★★☆ ≧ 65<br/>                     B+ ランク: ★★★☆☆ ≧ 50<br/>                     B ランク: ★★☆☆☆ ≧ 40<br/>                     C ランク: ★☆☆☆☆ &lt; 40                 </p> | <p>                     Qw1 健康性・快適性      Qw2 利便性<br/>                     Qw3 安全・安心      Qw4 運営管理<br/>                     Qw5 プログラム                 </p> |

| 2-3 中項目の評価(バーチャート)  |   |   |
|---|---|---|
| 基本性能  |   |   |
| <b>Qw1 健康性・快適性</b><br>Score= 3.0<br><p>空間・内装   音環境   光・視環境   熱・空気環境   リフレッシュ   運動</p> | <b>Qw2 利便性</b><br>Score= 3.0<br><p>移動空間・コミュニケーション   情報通信</p>  | <b>Qw3 安全・安心</b><br>Score= 2.8<br><p>災害対応   有害物質対策   水質安全性   セキュリティ</p> |
| <b>運用管理</b><br><b>Qw4 運営管理</b><br>Score= 3.0<br><p>維持管理計画   満足度調査   災害時対応</p>         | <b>プログラム</b><br><b>Qw5 プログラム</b><br>Score= 3.3<br><p>メンタルヘルス対策   社内情報共有   健康増進プログラム<br/>医療サービス   インフラ</p> | 参考：知的生産性の視点に基づいた評価<br><p>作業効率   知識創造   意欲向上   人材確保</p>                  |

| 3 設計上の配慮事項  |           |           |
|-------------|-----------|-----------|
| 総合          |           |           |
| Qw1 健康性・快適性 | Qw2 利便性   | Qw3 安全・安心 |
|             |           |           |
| Qw4 運営管理    | Qw5 プログラム | その他       |
|             |           |           |

(様式3-5 第13条第2項関係：評価結果) (CASBEE 街区評価認証の場合)

# CASBEE®-街区

■使用マニュアル：CASBEE-街区(2014年版)

■評価ソフト：CASBEE-UD\_2014(v1.01)

## 評価結果

| 1-1 街区の概要   |                  | 1-2 対象区域   |  |
|-------------|------------------|------------|--|
| 開発名称        | Aプロジェクト          | 適用制度・事業    | 第一種市街地再開発事業  |
| 所在地         | 東京都千代田区          | 許容建蔽率/容積率  | 100% / 760%  |
| 区域面積        | 5.0 ha           | 敷地面積       | 2.5ha  |
| 竣工(供用開始)年   | 2014年1月 予定       | 建築面積/計画建蔽率 | 16000㎡ / 64%   |
| 地域・地区       | (1) 商業地域、防火地域    | 延床面積/計画容積率 | 20000㎡ / 800%  |
| (指定建蔽率/容積率) | (80% / 800%)     | 評価の実施日     | 2014/X/X   |
|             | (2) (80% / 600%) | 作成者        | (1) ■ ■ ■ ■<br>(2) ■ ■ ■ ■<br>(3) ■ ■ ■ ■<br>(4) ■ ■ ■ ■<br>(5) ■ ■ ■ ■<br>(6) ■ ■ ■ ■ |
|             | (3) (0% / 0%)    | 確認日        | 2014/X/X   |
|             | (4) (0% / 0%)    | 確認者        | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>             |
| 基準建蔽率/容積率   | 70% / 445%       |            |  |
| 潜在人口        | 2,371 人          |            |  |

対象区域図等

図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

| 2-1 街区の環境効率(BEEランク&チャート)  | 2-2 CO2排出量チャート(CO2総排出量)   | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)                                    |
|---|---|---|
| <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★ C: ★</p> <p>BEE=1.0</p> <p>街区の環境品質 G</p> <p>街区の環境負荷 L</p> <p>32.3</p> | <p>BAUの総排出量= 3.3 [t-CO<sub>2</sub>/(人・年)]</p> <p>施策後の総排出量= 1.5 [t-CO<sub>2</sub>/(人・年)]</p> <p>温室効果ガス排出量[t-CO<sub>2</sub>/(人・年)]</p> <p>温室効果ガス排出量削減率= 53.2%</p> | <p>Q1 環境</p> <p>Q2 社会</p> <p>Q3 経済</p> <p>LR 環境負荷低減</p> |

| 2-4 中項目の評価(ハートチャート)   |   |  |
|---|---|--|
| Q 街区の環境品質   |   |  |
| <p>Q1 環境</p> <p>Q1のスコア= 2.7</p> <p>スコア[-]</p> <p>資源 自然(緑・生物多様性) 人工物(建築)</p> | <p>Q2 社会</p> <p>Q2のスコア= 3.1</p> <p>スコア[-]</p> <p>公平・公正 安全安心 アメニティ</p> | <p>Q3 経済</p> <p>Q3のスコア= 3.8</p> <p>スコア[-]</p> <p>交通・都市構造 成長性 効率性・合理性</p> |

| L 街区の環境負荷(CO2排出量の内訳)   |   |   |
|--|---|---|
| <p>L1 交通分野</p> <p>温室効果ガス排出量[t-CO<sub>2</sub>/(人・年)]</p> <p>BAU 施策後</p> | <p>L2 建築(家庭・業務)分野</p> <p>温室効果ガス排出量[t-CO<sub>2</sub>/(人・年)]</p> <p>BAU 施策後</p> | <p>L3 みどり分野</p> <p>温室効果ガス排出量[t-CO<sub>2</sub>/(人・年)]</p> <p>BAU 施策後</p> |

| 3 計画上の配慮事項 |                |          |
|------------|----------------|----------|
| 総合         | その他            |          |
| Q1 環境      | Q2 社会          | Q3 経済    |
| L1 交通分野    | L2 建築(家庭・業務)分野 | L3 みどり分野 |

| 4 上位計画との整合性 |
|-------------|
| 上位計画等       |
| ○○○         |
| ○○○         |

(様式4 第13条第2項関係：認証票)

認証票の様式は、以下の表及び注記に定める通りとする。

| ツール名   | CASBEE-建築（新築）<br>の場合 | CASBEE-建築（既存）<br>の場合    | CASBEE-建築（改修）<br>の場合 | CASBEE-戸建（新築）<br>の場合 |
|--------|----------------------|-------------------------|----------------------|----------------------|
| 認証票の様式 |                      |                         |                      |                      |
|        |                      |                         |                      |                      |
| ツール名   | CASBEE-不動産の場合        | CASBEE-ウェルネス<br>オフィスの場合 | CASBEE-街区の場合         |                      |
| 認証票の様式 |                      |                         |                      |                      |
|        |                      |                         |                      |                      |

注

1. 上表はカラー版及びモノクロ版の認証票を表す。
2. ツール名に続けて認証交付年を西暦で記載する。
3. 星印は認証内容のうち、評価結果のランクを表す（Sランク：★★★★★、Aランク：★★★★、B+ランク：★★★、B-ランク（CASBEE-不動産の場合はBランク）：★★、Cランク：★）。